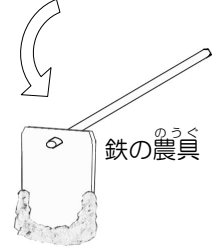
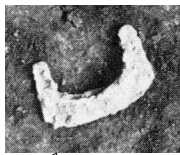
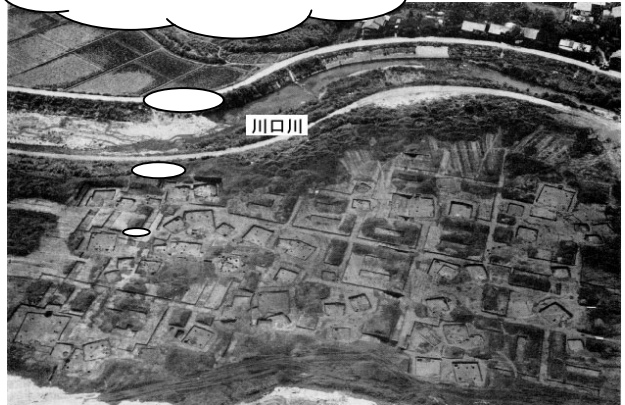


なかだ 中田いせき

中田いせきは、^{なかのさんのう}中野山王にあり、お
もに^{こふんじだいこうはん}古墳時代後半から^{ならへいあん}奈良・平安時代
にかけてのムラのあとがあります。い
せきは、146 けんの^{たてあなじゅうきよ}竪穴住居がみつ
かり、川口川のほとりで水田を耕して、農業を営ん
でいたムラだと考えられています。いせきからは、
いろいろな種類の土器（わん・米をにるかめなど）
や鉄でできた農具（かま・くわなど）、糸をつむぐ道具
（ぼうすい車）、まつりに使う道具などがみつかりま
した。

中田いせきは、ふく元
住居を見学できるよ！



—鉄製のくわ—

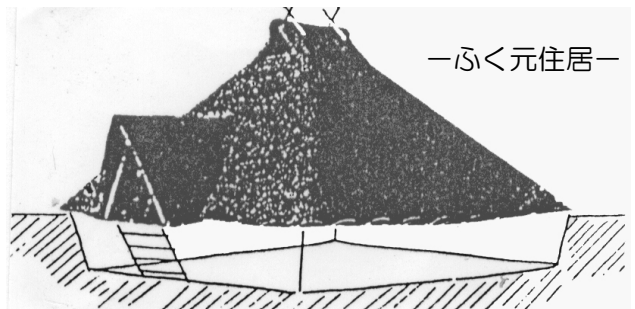


高つき

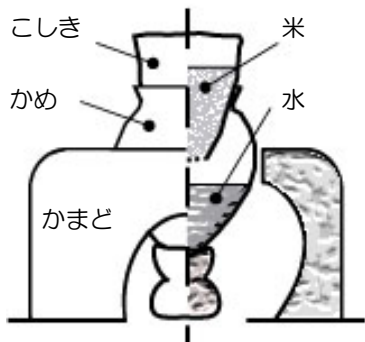
—食器—
食べ物をもる器



わん



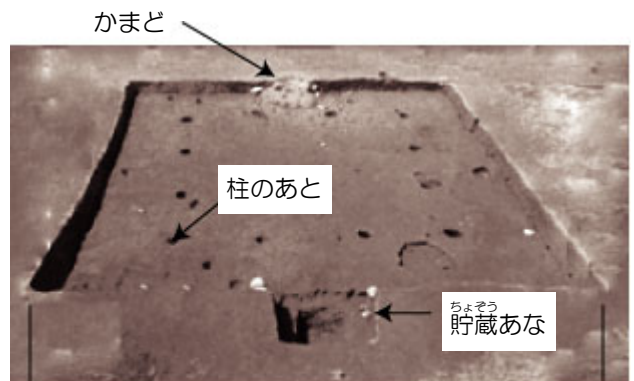
—ふく元住居—



—こしき—



—かめ—



9m10cm

—住居のあと—